



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第28号 (H23.12.19)

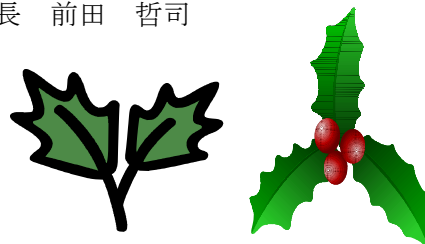
宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 前田 哲司

しつ じつ ごう けん
質 実 剛 健

「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」



県競技力向上推進校に指定！

～附属中男子テニス部に指定証交付～

12月12日に附属中学校男子テニス部に対し、「宮崎県中学校競技力推進校指定証交付式」が本校でありました。交付されます目的は、指定証を交付することにより、関係者の意識を高揚を図るとともに、更なる運動部活動の活性化を推進し、競技力の向上を資するものであります。式では、県から田村県スポーツ振興課長、石崎県中学校体育連盟副理事長をお迎えし、生徒代表挨拶として、テニス部主将尾前勇向くんの力強い誓いのことばがありました。県一位となりこれからは、他の学校から目標とされ追われる身となりましたが、あくまでも常に初心にもどり、質実剛健の精神で頑張っていきたいと思っております。＜宮崎県中学校競技力推進校指定証交付式の様子＞



進学について、生徒・保護者の皆様、一緒に勉強してみましょう！

大学進学 2012年度の展望 センター試験出願者52.1万人

【大学入試センター試験】—センター試験の大きな制度変更—

○2012年度大学入試センター試験への出願数は、前年同時期で、14,074人減の52万0989人と発表された。昨年度よりは減少しているが、景気低迷による国公立大学志向の継続、私立大入試におけるセンター利用方式の志願者の多さは継続している。

○昨年度のセンター試験の5教科7科目900点集計の平均は、文系565点(前年+15点)、理系574点(前年+27点)。一昨年度は特に理系の受験生にとって厳しい状況であったが、理系科目での大幅上昇が理系の大幅アップに繋がった。科目間の差は毎年あり、今年も予想がつかないが、いずれにしても高得点をねらうにはしっかりとした基礎力を身に付けておく必要がある。

※数学Ⅰ・Aが660(前年+17点)、物理が64.1(前年+10.1点)、英語筆記が122.8点(前年+4.6点)、国語が111.3点(前年+3.7点)

○2012年度からセンター試験で大きな制度変更が行われる。すでに出願時に「理科」・「地歴・公民」の科目数については登録を行っているが、2科目を登録している生徒は第1解答科目・第2解答科目を当日に選択しなければならない。模試等の結果を十分検討しておく必要がある。

○「公民」において新たに4単位科目である「倫理、政治・経済」が新設され、難関国公立大を中心に「地歴・公民」の4単位科目の指定がなされている。志望校の変更、後期併願など受験パターンをしっかりと考えて、科目選択しておく必要がある。

(第76号 進学 宮崎県高等学校進学指導研究会より)

※キャリア探究などで2年生から大学調べに入りましたが、学校だよりでも大学入試についての情報を載せていきますので、生徒諸君や保護者の皆様も是非参考にしていただきたいと思います。これも中高一貫校の良さだと思います。



「ペットの命と人間の責任について考えよう！」

12月16日（金）に教頭によるよのなか科の授業がありました。授業のねらいは、06年8月18日付日経新聞夕刊に直木賞作家の坂東眞砂子さんが書いた「子猫殺し」というコラムが掲載されました。ここでは、人間が避妊手術を行う権利とペットを飼った社会的責任とを対比して、生まれてきた子猫を自ら殺していると書かれています。授業では、中学生と大人がこのテーマについて論議し、人間のペットに対する避妊の権利や、生まれたペットの命と飼い主の責任について考えを深めさせたいということです。今回は、拡大バージョンとして1・2年生80名全員で実施し、ゲストティーチャーに「みかわ動物病院の先生」に来ていただきました。

【生徒の感想】

■今回の授業を終えて、私は愛玩動物に対する重い責任を感じました。幼いころに言った「ペットがごしい」という言葉は軽々しく言えないということ学びました。そして、私はもうペットは飼いたくないと思いました。そんなに重い責任を果たすことができないかもしれないと感じたからです。避妊手術をされ、子どもを産む喜びを失って、それが苦であるペットもそうでないペットも他のことに生きがいを感じ幸せな人生を送ってほしいと思いました。

■〜どの選択肢もペットは気の毒になってしまうことだけど、ペットを人間が育てる上で、そのような犠牲を必ずしも出してしまうとGTの方が言っていた言葉が印象的でした。何も考えずに、保健所に出す人、殺す人、避妊手術をさせる人、今日のような授業を受けたり、「子猫殺し」を読んだりしてほしいなあと思いました。私は、今は飼う予定はないけれど、動物は好きなので将来ペットを飼う時は今日のような授業を思い出して、ペットの気持ちになってお世話してあげたいです。今日は命について考えられた楽しい授業になりました。人間がペットを育てるという行為が命を犠牲にしていることを忘れずに生活していきたいです。本当にありがとうございました。

■この授業で私は多くの事を知ることができた。保健所での出来事も、身近なものであり、できる限り多くの命を救いたいとも思っている事も知ることができた。これからは、保健所のことやペットのこと。自分にできることは何か、すべき事は何かをしっかりと頭に入れて行動できるようにしていきたいと思います。